

美女ヶ森（大御食神社）



その昔、日本武尊が東征の際立ち寄った場所で、美女が接待したと伝えられています。壮健から1900年の由緒ある神社です。

市内5地区の年番で秋の例大祭が執り行われお練り道中が練り広げられます。

樹齢1100年幹周り585cmの御神木御蔭杉や本殿の彫刻も見ごたえがあります。

周囲を散策すると南と中央アルプスの山並みが見渡せます。 (駐車場 トイレ有り)



本殿の彫刻



←

日本武尊が肘を掛けたとか、杯を置いたとされる杯(ひらか)石、または肘掛石と呼ばれています

→
広葉杉(こうようざん)
中国 四川省等に多く
多く見られる杉で、なぜ
ここにあるのかわかって
いない



広葉杉の葉

